



N.Inaba

THE HANKYU HAI

第69回 阪急杯 (GⅢ)

1 着 2 着 3 着 4 着 5 着
本 賞 43,000,000円 17,000,000円 11,000,000円 6,500,000円 4,300,000円
付加賞 637,000円 182,000円 91,000円



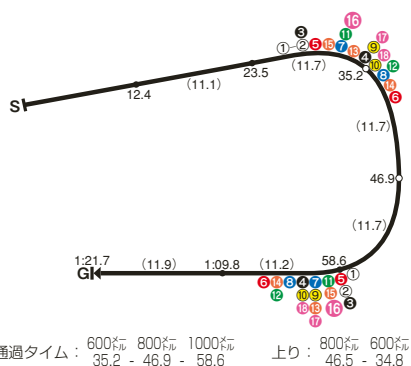
レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

4歳以上、除未出走馬および未勝利馬
負担重量 57^{kg}、牝馬2^{kg}減、2024.2.17以降GⅠ競走(牝馬限定競走を除く)1着馬2^{kg}増、牝馬限定GⅠ競走またはGⅡ競走(牝馬限定競走を除く)1着馬1^{kg}増、2024.2.16以前のGⅠ競走(牝馬限定競走を除く)1着馬1^{kg}増(ただし2歳時の成績を除く)

2025.2.22 京都 曇・良 芝1400m (国際 指定)

順位	馬番	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑥	カンチエンジュンガ	牡	5	57	幸 英明	1:21.7	11-12	34.0	496(+12)	18.6⑦	庄野靖志(栗東)	111
2	⑥	アサカラキング	牡	5	57	斎藤 新	1/2	1-1	34.9	526(+2)	4.5②	斎藤 誠(美浦)	110
3	⑥	ソーダズリング	牝	5	55	浜中 俊	3/4	10-8	34.3	472(-6)	4.9③	音無秀孝(栗東)	104
4	⑦	ダノンマッキンリー	牡	4	58	北村友一	クビ	7-8	34.5	476(+4)	7.3④	藤原英昭(栗東)	109
5	⑧	フォーチュンタイム	牡	4	57	岩田望来	ハナ	3-4	34.9	512(+12)	3.4①	吉岡辰弥(栗東)	
6	⑧	セッション	牡	5	57	M.デム-ロ	アタマ	5-5	34.6	532(±0)	54.4⑩	斎藤崇史(栗東)	
7	⑤	トゥラヴェスーラ	牡	10	57	池添謙一	1/2	15-15	34.1	494(+10)	24.9⑨	高橋康之(栗東)	
8	⑤	ダノンスコーピオン	牡	6	58	和田竜二	アタマ	14-12	34.2	466(-2)	58.0⑩	福永祐一(栗東)	
9	②	モズメイメイ	牝	5	55	松若風馬	1/4	3-2	35.3	468(-6)	65.3⑩	音無秀孝(栗東)	
10	①	オオパンプルマイ	牡	5	57	A.ルメートル	クビ	18-18	34.1	458(-6)	14.0③	吉村圭司(栗東)	
11	①	アグリ	牡	6	57	吉田隼人	ハナ	11-12	34.6	502(+2)	20.6⑧	杉山晴紀(栗東)	
12	⑧	スズハローム	牡	5	57	吉村誠之助	クビ	5-5	35.2	466(+14)	17.4④	牧田和弥(栗東)	
13	②	ドナベティ	牝	4	55	田口貴太	1/4	16-15	34.7	440(+12)	209.0⑩	矢作芳人(栗東)	
14	⑦	ブークファロス	牡	5	57	富田 暁	クビ	11-8	35.0	450(±0)	386.1⑩	清水英克(美浦)	
15	⑨	ヴァトレニ	騾	7	57	酒井 学	アタマ	7-8	35.2	458(+2)	114.7⑩	長谷川浩大(栗東)	
16	④	シュバルツカイザー	騾	7	57	岩田康誠	3/4	7-5	35.4	506(+2)	36.4⑩	大竹正博(美浦)	
17	④	ジャングロ	牡	6	57	横山典弘	クビ	2-2	35.9	482(±0)	158.5⑩	森 秀行(栗東)	
18	③	フルメタルボディ	騾	5	57	園分優作	4	16-15	35.6	506(+2)	33.2⑩	清水久詞(栗東)	

単勝⑥1,860円(7^{kg}) 複勝⑥430円(7^{kg}) ⑥200円(3^{kg}) ⑩180円(2^{kg}) 枠連③-⑥1,260円(5^{kg})
馬連⑥-⑥4,420円(18^{kg}) ワイド⑥-⑥1,290円(14^{kg}) ⑩-⑥1,650円(21^{kg}) ⑥-⑩710円(3^{kg})
馬単⑥-⑥11,640円(42^{kg}) 3連複⑥-⑩10,740円(30^{kg}) 3連単⑩-⑥-⑩98,470円(319^{kg})



通過タイム : 600m 800m 1000m 上り : 800m 600m
35.2 - 46.9 - 58.6 46.5 - 34.8

アラカルト

- ・幸英明騎手はトーキングドラムで制した17年に続く阪急杯3勝目。JRA重賞は通算48勝目
- ・庄野靖志調教師は阪急杯初勝利。JRA重賞は通算16勝目
- ・ビッグアーサー産駒はJRA重賞通算7勝目
- ・5歳馬の勝利は24年ウインマーベリに続く通算25回目
- ・非抽選馬 1頭(グレイイングリーン)
- ・カンチエンジュンガは高松宮記念(GⅠ)に優先出走できる

カンチェンジュンガ *Kanchenjunga*

牡 鹿毛 2020.3.23生
北海道日高町 サンバマウンテンファーム生産
馬主・幅田昌伸氏 栗東・庄野靖志厩舎
馬名意味・ヒマラヤの山の一つ

エイプリルソネットUSA系 F12

ビッグアーサー 鹿毛 2011	サクラバクシンオー 鹿毛 1989	サクラユタカオー サクラハゴロモ
	シャボナUSA 鹿毛 2005	Kingmambo Relish
クェスタボルタ 黒鹿毛 2015	ノヴェリストIRE 黒鹿毛 2009	Monsun Night Lagoon
	ワイドサファイア 鹿毛 2006	アグネスタキオン クイーンソネット

5代までのインブリード：ノーザンテーストCAN S4×M4
Northern Dancer S5×S5×M5

INTERVIEW

小澤加奈子場長(サンバマウンテンファーム)

我が子のように育てたので喜びもひとしおです

ゴールの瞬間は牧場スタッフとガッツポーズをして、テレビの向こうの馬に拍手を送りました。当歳時は体が弱く、毎日獣医師さんに来てもらったこともあります。1歳後半にやっとしっかりとしてきましたが、育成に移ってから歯を4本まとめて折ったりと、本当にいろいろなことがありました。我が子のように大切に育てた馬の重賞制覇ですので喜びもひとしおです。

S.Naka



主張すると、出足に優れた外の先行勢は好位に控え、レースは平均ペースで進行。二の脚でスピードに乗ったフォーチュンタイムは3番手集団のインに収まり、折り合いに専念する。ソーダズリングは比較的密集した馬群の中間を追走。カンチェンジュンガと幸英明騎手のコンビはその直後に続き、仕掛けのタイミングを窺った。単騎で飛ばし、軽快に坂を駆け下りたアサカラキングは残り400m地点からさらに加速。好位勢を突き放して逃げ込みにかかる。最内を突いて反撃したフォーチュンタイムはなかなか差を詰め切れず、押し切りは濃厚と映ったが、馬場の大外へ進路を取り、エンジンに火がついたカンチェンジュンガは別格の末脚を発揮。昨年の雪辱まであと一歩と迫ったアサカラキングを一気に捉えてゴールに飛び込んだ。

ビッグアーサー産駒の本馬は昨年冬の小倉開催で2、3勝クラス特別を連勝してオープン入り。昇級後は入着止まりの走りが続いたものの、近3戦は連続で出走馬中最速の上がりタイムを記録し、タイトルに手が届く下地を示していた。7着に終わった京阪杯の後、3カ月の休養を挟み、プラス12kgの馬体重で臨んだこの日は一皮むけた末脚を披露してライバルをごぼう抜き。ヒマラヤの山の一つ、から名付けられた馬が、短距離界の最高峰を争う高松宮記念の新星に名乗りをあげた。

父ビッグアーサー

北海道浦河町 パンブー牧場生産 中央、香15戦8勝(高松宮記念^{G1}、セントウルS^{GII}、京阪杯^{GIII}2着、北九州記念^{GIII}2着、阪神C^{GIII}3着)、18年から供用〔代表産駒〕**トウシンマカオ**(セントウルS^{GII}、京阪杯^{GIII}2回、オーシャンS^{GIII}、スプリンターズS^{GII}2着)、**ビッグシーザー**(京阪杯^{GIII})、**カンチェンジュンガ**(本馬)、**プトンドール**(函館2歳S^{GIII}、ファンタジーS^{GIII}2着)、**ブーケファロス**(マーガレットS・L2着)、**クリスアーサー**(中京2歳S^{OP})

母クェスタボルタ

北海道浦河町 有限会社吉田ファーム生産 中央4戦0勝

カンチェンジュンガ 本馬(20 牡父ビッグアーサー)中央17戦5勝(阪急杯^{GIII}、

下関S、周防灘特別)獲得総賞金101,091,000円

メイゲツ(21 牡父ビッグアーサー)中央3戦0勝、地方7戦1勝

モンタルチーノ(22 牡父ビッグアーサー)中央3戦1勝 ㊟

ワイドグンサ(23 牡父ニューイヤーズデイUSA)㊟

(24 不受胎)

祖母ワイドサファイア

北海道千歳市 社台ファーム生産 中央2勝(フローラS^{JII}2着、エルフィンS^{OP}2着)

クェスタボルタ(15 前出)

ワイドファラオ(16 牡父ヘニーヒューズUSA)中央3勝(ニュージラント

ロフィエ^{GII}、ユニコーンS^{GIII})、地方1勝(かしわ記念^{JII}、テレ玉杯オ

ーパルスプリント^{JII}2着、さきたま杯^{JII}3着)、種牡馬

アタカンテ(19 牝父ルーラーシップ)中央2勝、地方1勝

ワイドラトゥール(21 牝父カリフォルニアクロームUSA)中央3勝(紅梅S・L、長岡京S)㊟

曾祖母クイーンソネット

北海道千歳市 社台ファーム生産 中央5勝(天の川S、淀屋橋S、津軽海峡特別、なでしこ賞、新潟記念^{GIII}2着、六甲S^{OP}2着)、13年用途変更

プロセッション(03 牡父エルコンドルパサーUSA)中央5勝(薫風S)

トーセンゴライアス(04 牡父クロフネUSA)中央4勝(奥の細道特別)、地方0勝

ワイドサファイア(06 前出)

ヴァーゲンザイル(08 驥父ネオユニヴァース)中央5勝(サンシャインS、安

房特別、初萩賞、メトロポリタンS^{OP}3着)、地方1勝

ブランクヴァース(09 牡父ネオユニヴァース)中央3勝(名鉄杯)、地方1勝(高知県知事賞)

大外一気の末脚で重賞初制覇

近年の実態に即して本番とのレース間隔を見直し、多くの前哨戦が1週間繰り上げられた今年、高松宮記念へのステップと位置付けられている阪急杯は2月京都開催の最終週に行われた。頭ひとつ抜けた支持を集めたのは、これまで5戦4勝2着1回とまだ底を見せない4歳の新星フォーチュンタイム。昨年の2着馬アサカラキング、同舞台の京都牝馬Sでナムラクレアを下した星が光るソーダズリングがこれに続く存在と目されたものの、勝利の軍配は7番人気の伏兵カンチェンジュンガに上がった。

内めの枠(3枠6番)を引いたアサカラキングが手綱を押して押して先手を